

## 《Lesson 1》一般動詞の肯定文（現在形②） < he / she / it >

主語が he / she / it（または、Taro や Hanako のように、he / she / it に言い換えられる名詞）の時の、現在形の一般動詞の文は「3人称・単数・現在形」というところから、「**3 単現**」と言われることがあります。3 単現の肯定文は、主語が I / you / we / they の時と基本的に同じなのですが

「一般動詞の語尾に **s** または **es** を付ける」

といった特徴があります。

【一般動詞の肯定文（現在形②） < he / she / it > : 基本の形】

**He**

**She + 一般動詞 s/es (+目的語) (+～) .**

**It**

<例> He runs every morning. (彼は、毎朝走ります)  
She teaches science. (彼女は科学を教えます)  
My dog likes this ball. (私の犬はこのボールが好きです)  
My brother \*wants to play soccer. (私の兄はサッカーをしたいと思っています)

\*want to ~ / like to ~ / need to ~ の場合、**s** や **es** がつくのは、**want / like / need** のみ。

<例> He wants to **eat** this. (彼はこれを食べたいと思っています) <eat には、s/es がつかない>  
She likes to **study** English. (彼女は英語を勉強するのが好きです) <study には、s/es がつかない>  
He needs to **come** here. (彼はここに来る必要があります) <come には、s/es がつかない>

【一般動詞に s / es を足すルール】

(1) **s** を足す場合 = 大部分の一般動詞

<例> He runs every morning. (run → runs になる) <彼は毎朝走ります>  
She likes Japan. (like → likes になる) <彼女は日本が好きです>

(2) **es** を足す場合 = 基本的に名詞の複数形に es をつけるルールと同じ

《名詞の複数形に es をつけるルール》

- ・ 単語の最後の文字が **s / o** (ただし「子音 + o」) , **x, sh, ch** の時  
<覚え方: ソックス(sox)をシュッチュ(sh, ch)と洗う>
- ・ 単語の最後の文字が「子音 + y」の時は、y → i にして es

<例> He teaches science. (teach → teaches になる) <彼は科学を教えます>  
Yoshiko does her homework every day. (do → does になる) <ヨシコは、毎日宿題をします>  
She studies Japanese with Jiro. (study → studies になる) <彼女は日本語をジロウと勉強します>

**(3) 例外の形: have → has (haves =×)**

<例> Kenji **has** a dog. (have → has になる) <ケンジは犬を飼っています>

\*This city **has** many schools. (have → has になる) <この市にはたくさんの学校があります>

\*「〇〇（場所）にある」という場合、動詞には **have** がよく使われる。

<例> My city **has** three big libraries.

(私の市には3つの大きな図書館があります)

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。